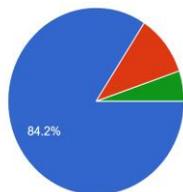


令和5年度横浜市医師会グリーンケアモデル事業研修 テーマ「在宅でのグリーンケア ～今できること、これから取り組むべきこと～」

参加者46名(会場21名, zoom25名) アンケート回収率43%

参加者内訳 (医師6名、歯科医師1名、看護師23名、リハビリ職5名、主任ケアマネジャー・ケアマネジャー6名、他職種3名)

本日の研修会について
19件の回答



● とても参考になった
● 参考になった
● どちらとも言えない
● あまり参考にならなかった

研修会についてご意見・ご感想をお聞かせください。

(回答のうち主なものを抜粋)

・ 家族の受け入れ段階等の基本的な知識を得られるとともに、在宅で関わらせてもらった医療従事者がどのようにケアできるか、考えさせられました。グリーンケアサロンがあることも知ることができてよかったです。

・ 在宅診療所にて診療時には、ご逝去後も極力訪問するように努めておりましたが、なかなか全てのお宅へは訪問できず、訪問しても思い出話程度で、しっかりやってこれなかったと思っている。

・ ご本人、ご家族のみならず医療者等ケアする側もまた悲嘆の過程をたどっていること、また聴くことの重要性を改めて学ばせていただいた

・ クリニックや訪看ではやはり時間の確保が難しいことや、算定できないことなどからグリーンケアを十分に行えないケースがほとんど。また、医療職が介入しないほうが良いケースも実際あると思います。そのために、遺族の会などへ繋げることが大事であることも感じました。

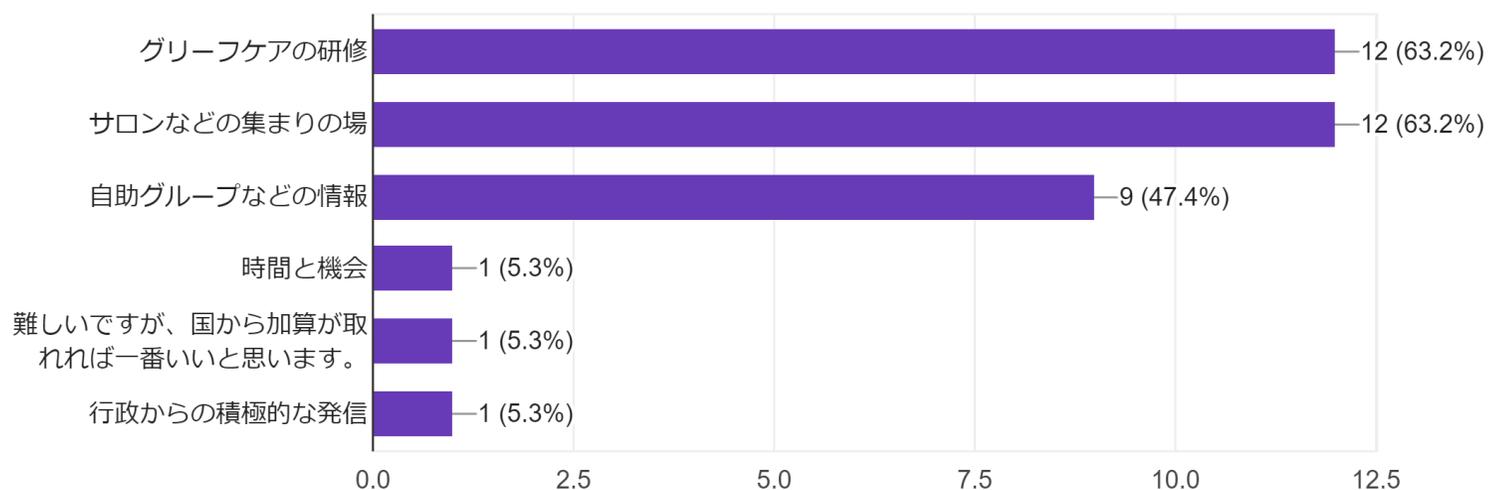
グリーフケアについて取り組まれていることがありましたらご記入ください。

(回答のうち主なものを抜粋)

- ・当事務所では死亡月の翌月辺りに家族と連絡を取り、書類のお渡しや置かせていただいている訪問ファイルの受け取りについて相談。受け入れていただけるのであれば弔問しています。
- ・前職場では、ご逝去後1年程度はお盆やお彼岸等にはがきでお便りを送っておりました。時にお返事や診療所までご挨拶いただいていたこともありました。
- ・施設として**49日**のころにグリーフレターを送付させていただいている。
- ・当クリニックではデスクンファを開催しています。振り返りも今後にとっても大切だなと感じます

今後、グリーフケアに取り組んでいくために何が必要だと考えますか？（複数可）

19件の回答



皆様ご協力
ありがとうございました。